



第95回学長定例記者会見

日時：平成30年1月29日（月）10：00～10：30
場所：広島大学 霞キャンパス 臨床管理棟3階 大会議室
※Ustream および YouTube による録画配信を実施

【発表事項】

1. (3/10) 広島大学平和科学研究センター主催・広島平和記念資料館共催
公開市民講座『原爆被害とは何か、ヒロシマは何を継承するのか』を開催します
2. (2/24) 開発協力シンポジウム
『私たちのSDGs-国際協力と地域開発との対話』を開催します

【お知らせ】

1. (1/31) 「精神的価値が成長する感性イノベーション拠点」
平成29年度公開シンポジウムを開催します
2. (2/11-) 『第56回 広島大学 大学院教育学研究科造形芸術教育学専修
教育学部造形芸術系コース 修了・卒業制作展／論文発表会』を開催します
3. (3/16) 世界遺産・宮島の植樹体験に、
本学の理学研究科附属宮島自然植物実験所が協力します

■次回の学長定例記者会見（予定）

日時：2月下旬
場所：東広島キャンパス



平成30年1月29日

広島大学平和科学研究センター主催
広島平和文化センター平和記念資料館共催

公開市民講座
『原爆被害とは何か、ヒロシマは何を継承するのか』を開催します
(包括的連携協定事業)

原爆投下の「あの日」から73年、被爆者は、想像を絶する苦難や憎しみを乗り越えて、核なき世界平和の実現という重責を担ってきました。そして、先般のICANのノーベル平和賞受賞によって、その重責はあらためて注目され、評価されました。しかし、原爆被爆被害の体験者である被爆者の総人口は年々減少し、ついに16万人となりました。

そういった今だからこそ、「原爆体験」とその基盤にある「原爆被害」とは何だったのか再検証し、ヒロシマにとって、今日的課題である被爆体験継承に取り組む必要があります。この公開市民講座を通し、原爆被害とは何か、ヒロシマは何を継承し何を繋いでいくのか、をあらためて考えます。

【日時】平成30年3月10日(土) 13時～17時

【会場】広島平和記念資料館東館 地下1階 メモリアルホール

【対象】どなたでも

【講演者】

川野徳幸 広島大学平和科学研究センターセンター長
原田浩徳 広島大学平和科学研究センター客員研究員／
東京薬科大学生命科学部腫瘍医科学研究室教授
志賀賢治 広島平和記念資料館 館長
Luli van der DOES
広島大学平和科学研究センター外国人客員研究員／
日本学術振興会外国人特別研究員

【参加費】無料

【申し込み方法】

電話、郵便はがき、FAX又はE-mailで氏名、連絡先、手話通訳・要約筆記が必要な方はその旨を2月28日(水)(必着)までに、広島大学平和科学研究センターへ。

【お問い合わせ先】

広島大学平和科学研究センター
〒730-0053 広島市中区東千田町 1-1-89
TEL:082-542-6975 FAX:082-245-0585
E-mail: heiwa@hiroshima-u.ac.jp



広島大学平和科学研究センター主催
広島平和文化センター平和記念資料館 共催



公開市民講座

原爆被害とは何か、 ヒロシマは何を継承するのか

【講演者】

川野 徳幸	広島大学平和科学研究センター センター長
原田 浩徳	広島大学平和科学研究センター客員研究員 東京薬科大学生命科学研究室教授
志賀 賢治	広島平和記念資料館 館長
Luli van der Does	広島大学平和科学研究センター外国人客員研究員 日本学術振興会外国人特別研究員

【日時】 平成30年3月10日(土)13時～17時
【会場】 広島平和記念資料館東館 地下1階 メモリアルホール
【対象】 どなたでも
【参加費】 無料

【お申し込み方法】 電話、郵便はがき、FaxまたはE-mailで、氏名、連絡先、手話通訳・要約筆記が必要な方はその旨を、2月28日(水)(必着)までに、広島大学平和科学研究センターへ。

【お問い合わせ先】

広島大学平和科学研究センター
〒730-0053 広島市中区東千田町1-1-89
電話: 082-542-6975
FAX: 082-245-0585
E-mail: heiwa@hiroshima-u.ac.jp



公開市民講座

原爆被害とは何か、 ヒロシマは何を継承するのか

原爆投下の「あの日」から73年、被爆者は、想像を絶する苦難や憎しみを乗り越えて、核なき世界平和の実現という重責を担ってきました。そして、先般のICANのノーベル平和賞受賞によって、その重責はあらためて注目され、評価されました。しかし、被爆者のみに頼っていた時代は未来永劫続くわけではありません。原爆被爆被害の体験者である被爆者の総人口は年々減少し、ついに16万人となりました。そういった今だからこそ、「原爆体験」とその基盤にある「原爆被害」とは何だったのか再検証し、ヒロシマにとって、今日的課題である被爆体験継承に取り組む必要があります。この公開市民講座を通し、原爆被害とは何か、ヒロシマは何を継承し何を繋いでいくのかを、あらためて考えます。

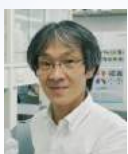
13:00-13:10 開会の挨拶

13:10-13:55 原爆被害とは何か



川野徳幸 (Noriyuki Kawano) : 広島大学平和科学研究センター センター長・教授。広島大学原爆放射線医学研究所附属国際放射線情報センター助手・助教、広島大学平和科学研究センター准教授等を経て、2013年6月から同センター教授、2017年4月、センター長に就任。医学博士。専門は原爆・被ばく研究、平和学。

13:55-14:40 原爆後障害と血液がん ～骨髄異形成症候群とは～



原田浩徳 (Hironori Harada) : 広島大学平和科学研究センター客員研究員、東京薬科大学生命科学部腫瘍医科学研究室教授。広島大学原爆放射線医学研究所血液内科助手・助教・講師、順天堂大学医学部内科学教室血液学講座准教授等を経て、2016年7月東京薬科大学生命科学部教授に就任。医学博士。専門は骨髄異形成 症候群の診療と研究、放射線生物影響学。

14:40-14:55 休憩

14:55-15:40 記憶の継承 ― 次世代に引き継ぐ資料館を目指して



志賀賢治 (Kenji Shiga) : 広島平和記念資料館館長。1978年名古屋大学法学部卒業、同年広島市役所採用。広島市立大学事務局長、健康福祉局長、人事委員会事務局長などを歴任し、2013年3月広島市役所退職。同年4月より現職。

15:40-16:25 原爆体験と「こころ」の軌跡を伝えるために



ファン・デル・ドゥース ルリ (Luli van der Does) : 広島大学平和科学研究センター外国人客員研究員。日本学術振興会特別研究員。エジンバラ大学言語科学修士、ケンブリッジ大学応用言語学修士、シェフィールド大学社会科学博士。専門は社会心理言語学、多領域横断的言説分析。共著に Excavating the Power of Memory in Japan (2016年Routledge)、「戦争への終止符」(2016年法律文化社)など。

16:25-16:55 総合討論

16:55-17:00 閉会の挨拶

ご氏名			<お申し込み先> 広島大学平和科学研究センター 〒730-0053 広島市中区東千田町1-1-89 電話: 082-542-6975 Fax: 082-245-0585 Eメール: heiwa@hiroshima-u.ac.jp
ご連絡先 (ご住所、 e-mailなど)			
手話通訳・要約筆記	☐ 要	☐ 不要	

平成30年1月29日

開発協力シンポジウム
『私たちのSDGs—国際協力と地域開発との対話』を開催します

近年、国際協力の現場では、国際機関や援助団体のみならず地方の中小企業や自治体等の活躍もみられ、国内の一地方からでも国際社会に対して重要な貢献が行われている事例が少なくありません。多様な主体の台頭は連携の重要性を一層高め、新たな課題も生み出しています。

そこで本シンポジウムでは、今日の国際協力の土台となっている「持続可能な開発目標（SDGs）」に注目しながら、「地方」と「国際」による対等なパートナーとしての効果的な協働のあり方について、世界最前線で活躍中の2人のトップランナーと一緒に考えていきます。

国際協力・国際支援に関心のある方のみならず、町おこし・村おこしに携わっている方や外国に興味のある高校生など、幅広く参加いただきたく、ご案内申し上げます。

記

【日時】 平成30年2月24日（土）12:30～16:30（開場 12:00）

【場所】 広島国際会議場・国際会議ホール「ヒマワリ」
（広島市中区中島町1番5号）

【プログラム】

第Ⅰ部（12:30～14:30）基調講演

1 「The SDGs—国際開発のパラダイム・シフト？」

Sakiko Fukuda-Parr

（ニュースクール大学教授・国連開発政策委員会副議長）

2 「持続可能な開発目標（SDGs）—目標16を中心に」

Scott Gates

（オスロ国際平和研究所教授・前所長）

第Ⅱ部（14:50～16:30）パネル討論

パネリスト：池田修一（国際協力機構中国国際センター所長）、東村康文（NPO 法人ピースウィンズ・ジャパン職員）、川本亮之（広島県豊田郡大崎上島町総務企画課企画調整係）、馬場卓也（広島大学大学院国際協力研究科長・教授）

【使用言語】 英語及び日本語（同時通訳あり）

【参加申込】 参加無料・申込不要

【主催】 広島大学大学院国際協力研究科

【共催】 広島県

【協賛】 国際協力機構中国国際センター（JICA 中国）・国際開発学会広島支部

【協力】 外務省

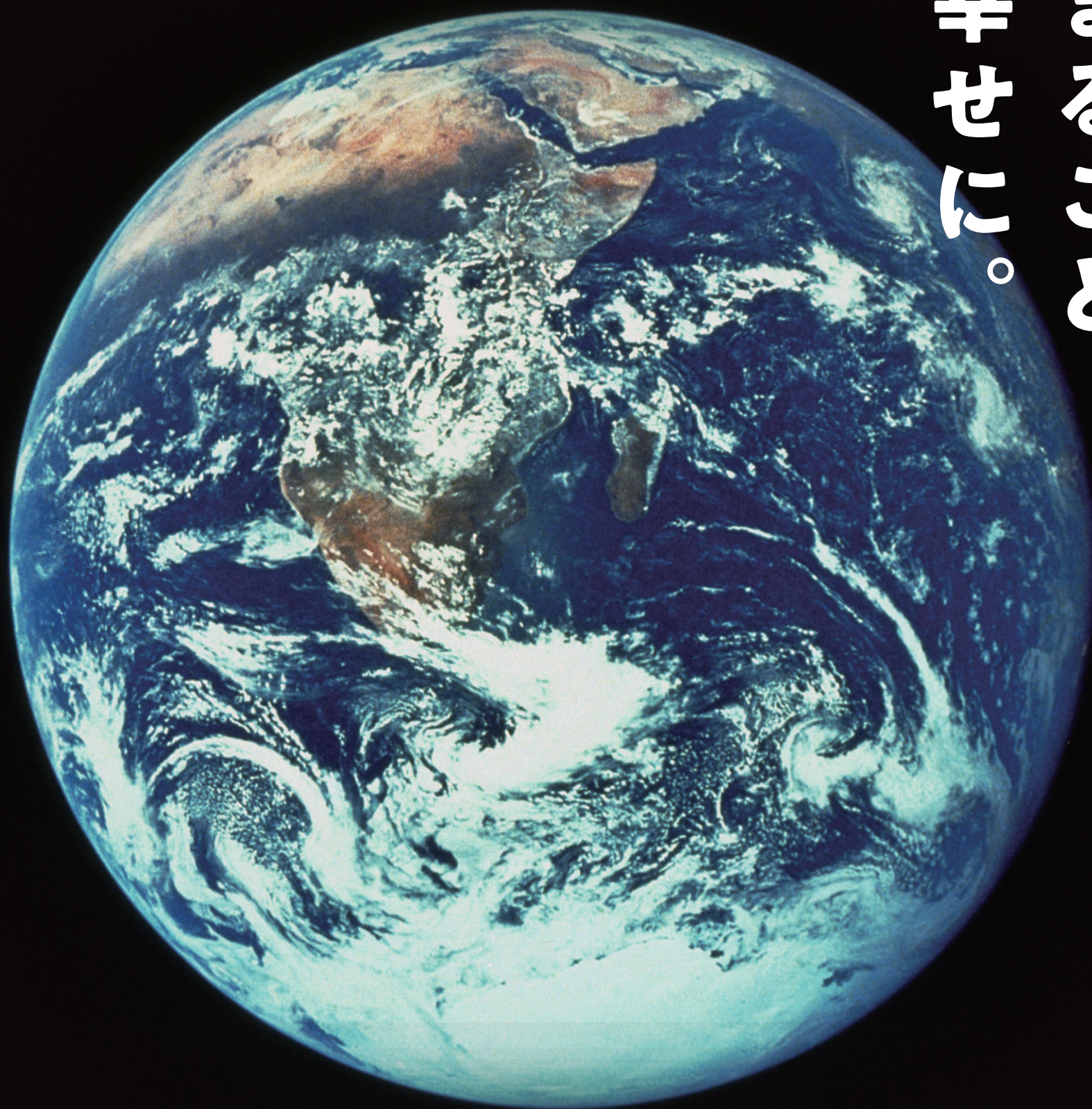
【お問い合わせ先】

広島大学大学院国際協力研究科・林

TEL:082-424-6901 E-mail: koku-shiencho@office.hiroshima-u.ac.jp



広島大学



地球を
まると
幸せに。

開 発 協 力 シ ン ポ ジ ウ ム

私たちのSDGs 国際協力と 地域開発との対話

2018 2/24 SAT

12:30 ▶ 16:30 [開場 12:00-]

広島国際会議場
国際会議ホール
「ヒマワリ」

広島市中区中島町1番5号

使用言語: 英語及び日本語(同時通訳あり)

第Ⅰ部 (12:30-14:30)

基調講演1

「The SDGs—国際開発のパラダイム・シフト?」

Sakiko Fukuda-Parr (ニュースクール大学教授・国連開発政策委員会副議長)

基調講演2

「持続可能な開発目標(SDGs)—目標16を中心に」

Scott Gates (オスロ国際平和研究所教授・前所長)

第Ⅱ部 (14:50-16:30)

パネル討論

[司 会] 片柳真理 (広島大学大学院国際協力研究科 教授)

[パネリスト] 馬場卓也 (広島大学大学院国際協力研究科長・教授)

池田修一 (国際協力機構中国国際センター所長)

束村康文 (NPO法人ピースウィンズ・ジャパン 職員)

川本亮之 (広島県豊田郡大崎上島町総務企画課企画調整係 係長)

[主催] 広島大学大学院国際協力研究科 [共催] 広島県

[協賛] 国際協力機構中国国際センター(JICA 中国)・国際開発学会広島支部 [協力] 外務省

[お問い合わせ先] 広島大学大学院国際協力研究科 林

TEL: 082-424-6901 E-mail: koku-shiencho@office.hiroshima-u.ac.jp





平成30年1月29日

**「精神的価値が成長する感性イノベーション拠点」
平成29年度公開シンポジウムを開催します**

文部科学省「革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)」における「精神的価値が成長する感性イノベーション拠点」の平成29年度公開シンポジウムを開催します。

今回のシンポジウムは、感性と知覚の可視化に関する研究に着目して、大学の研究者や企業様から具体的な成果を発表します。

感性の可視化においては、脳科学に基づきこれまで分かってきた感性のメカニズム、社会環境下でのメカニズム検証、音声や顔表情からの感性状態の推定等の研究成果を、知覚の可視化においては、痛覚、触覚、視覚の領域における研究成果を紹介します。なお同会場内には、関連したポスターも掲示します。

【日時】 平成30年1月31日(水) 13:00~16:45
(受付開始 12:30)

【場所】 リーガロイヤルホテル広島 4階ロイヤルホールⅢ
(〒730-0011 広島県広島市中区基町 6-78)

【定員】 200名程度

【お問い合わせ先】

社会産学連携室
社会連携グループ 感性イノベーション拠点担当
児玉 透
TEL:082-257-1737 FAX:082-257-1723

平成 29 年度
精神的価値が成長する感性イノベーション拠点
公開シンポジウム

～感性研究(感性とそれを支える知覚の可視化)
の取り組み～

2018.1.31(wed)13:00-16:45
リーガロイヤルホテル広島 4 階 ロイヤルホールⅢ

【会場へのアクセス】

- ・路面電車「紙屋町西」または「紙屋町東」徒歩 3 分
- ・バス「広島バスセンター」徒歩すぐ、または「紙屋町」徒歩 3 分
- ・アストラムライン「県庁前」徒歩すぐ

Program (予定)

- 12:30- 受付
13:00- 開会の挨拶 広島大学 学長 越智 光夫
来賓挨拶 文部科学省
来賓挨拶 広島県知事 湯崎 英彦 (代読)
来賓挨拶 COIビジョン2 ビジナリーリーダー 小池 聡
- 13:30- 感性イノベーション拠点の取り組み概要
感性イノベーション研究推進機構 機構長
マツダ株式会社 技術研究所 技監 農沢 隆秀
- 13:45- 感性とそれを支える知覚の可視化における研究成果
～ここまで来た感性の可視化、知覚の可視化～
研究成果の概要
感性イノベーション研究推進機構 副機構長
広島大学 大学院医歯薬保健学研究科 特任教授 山脇 成人
- 感性の脳メカニズムに迫る ～感性の可視化に向けた取り組み～
広島大学 大学院医歯薬保健学研究科 特任講師 笹岡 貴史
- 血管の硬さで痛みを測る ～痛覚の可視化～
広島大学 大学院工学研究科 教授 辻 敏夫
- あなたの声や顔の表情から感情を読み取ります
広島市立大学 大学院情報科学研究科 助教 目良 和也
- 触るを見せる, 触るで魅せる ～触感感性の理解と応用～
広島大学 大学院工学研究科 准教授 栗田 雄一
- 人の注意をモデル化する
京都大学 客員研究員 Richard Veale
- 15:15- 休憩
- 15:30- 感性COIの研究成果を社会実装にどう使うのか
コベルコ建機株式会社
TOTO株式会社
マツダ株式会社
株式会社アンデルセン・パン生活文化研究所
- 16:10- 広島県の産学官連携に対する取り組みと感性イノベーションへの期待
広島県商工労働局 イノベーション推進部長 上丸 敦仁
- 16:40- 閉会の挨拶 広島大学 理事・副学長(社会産学連携担当) 高田 隆

「感性」
「知覚」
を可視化する



参加申し込みはこちらから
で検索

感性イノベーション拠点

◀ QRコードからもアクセスできます



文部科学省 革新的イノベーション創出プログラム (COI STREAM)
科学技術振興機構 センター・オブ・イノベーション (COI) プログラム

広島大学感性イノベーション研究推進機構
〒724-8551 広島市南区霞 1-2-3
TEL : 082-257-1737



平成30年1月29日

『第56回 広島大学 大学院教育学研究科 造形芸術教育学専修
教育学部造形芸術系コース 修了・卒業制作展／論文発表会』
を開催します

広島大学大学院教育学研究科 造形芸術教育学専修2年生および教育学部
造形芸術系コース4年生による「第56回 広島大学 大学院教育学研究科 造
形芸術教育学専修・教育学部造形芸術系コース修了・卒業制作展／論文発表会」
を下記のとおり開催致します。

学部生および大学院生にとっては、これまでの研究活動の集大成を発表する
場であり、「絵画」「彫刻」「デザイン」「工芸」の作品展示と「造形芸術教育学」
「造形芸術学」の領域の論文発表を行います。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

<学内展>

【日時】平成30年2月11日（日）～2月17日（土）10時～19時
（入場は閉場時間の30分前まで）

【場所】広島大学東広島キャンパス 大学会館 1F 大集会室

<学外展>

【日時】平成30年2月20日（火）～2月25日（日）9時～17時
（入場は閉場時間の30分前まで）

【場所】広島県立美術館 地下1階 県民ギャラリー
（広島市中区上幟町2-22）

<ギャラリートーク>

【日時】平成30年2月24日（土）10:00～

【場所】広島県立美術館 地下1階 県民ギャラリー

【入場料】無料

<論文発表会>

【日時】平成30年2月24日（土）12:00開会

【場所】広島県立美術館 地下1階 講堂

【主催】広島大学 大学院教育学研究科／教育学部

【お問い合わせ先】

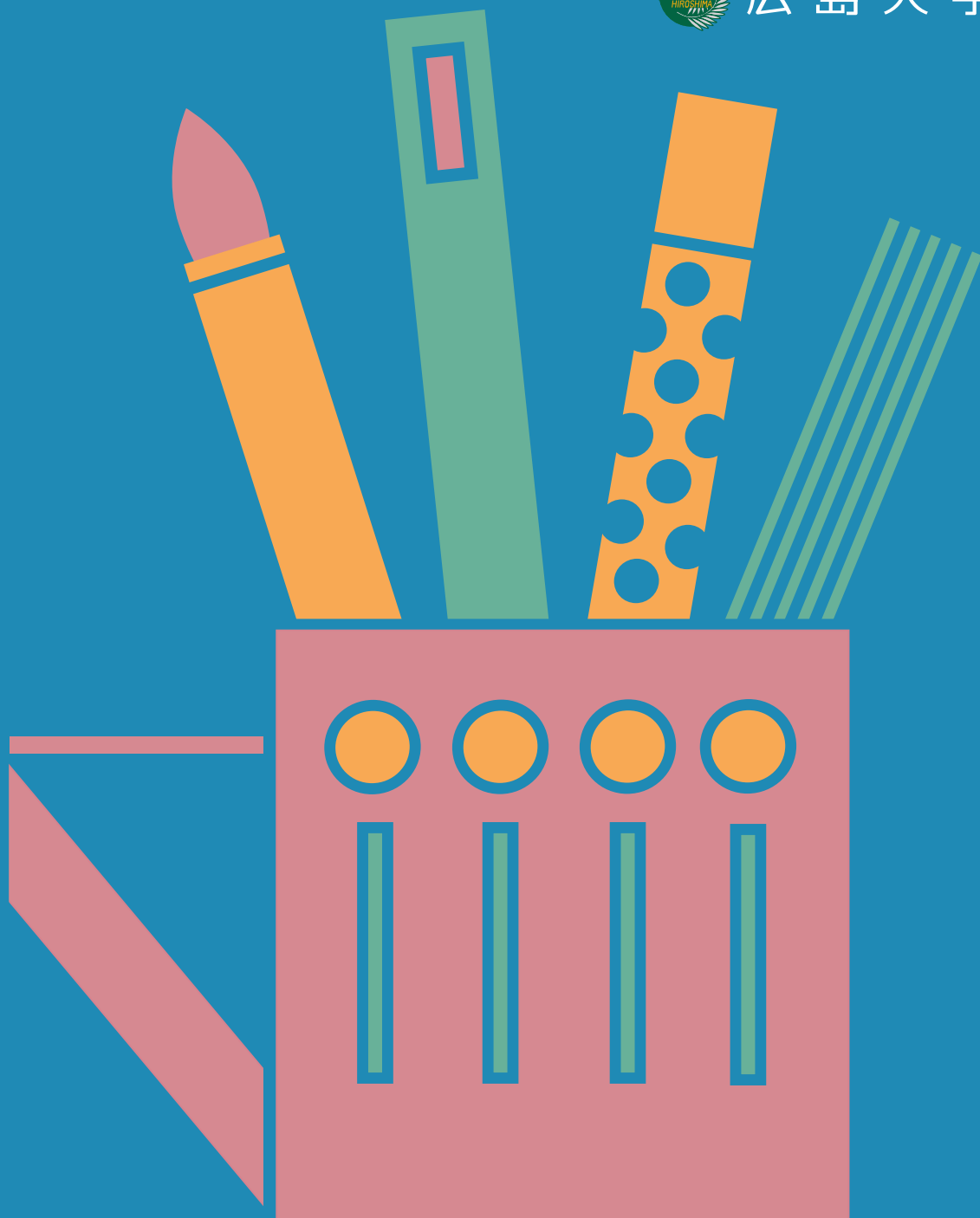
〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1

広島大学大学院 教育学研究科 造形芸術教育学講座資料室

TEL・FAX (082)424-7140



広島大学



修了・卒業制作展／論文発表会

第56回 広島大学 大学院教育学研究科造形芸術教育学専修 教育学部造形芸術系コース

造形芸術教育学 絵画 彫刻 デザイン 工芸 造形芸術学

学内展

広島大学東広島キャンパス 大学会館 1階 大集会室
平成30年2月11日(日)～2月17日(土)
10:00～19:00 (入場は閉場の30分前まで)

論文発表会

広島県立美術館 地下1階 講堂
平成30年2月24日(土)
12:00 開会

学外展

広島県立美術館 地下1階 県民ギャラリー
平成30年2月20日(火)～2月25日(日)
9:00～17:00 (入場は閉場の30分前まで)

ギャラリートーク

広島県立美術館 地下1階 県民ギャラリー
平成30年2月24日(土)
10:00～

主催 広島大学 大学院教育学研究科／教育学部

後援 広島県教育委員会、広島市教育委員会、東広島市教育委員会、中国新聞社、NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ
テレビ新広島、広島エフエム放送、FMちゅーピー 76.6MHz、(一社)尚志会、(一社)広島大学東雲同窓会、広島大学教育学部後援会



平成30年1月29日

世界遺産・宮島の植樹体験に、
本学の理学研究科附属宮島自然植物実験所が協力します

ユネスコスクール宮島学園（廿日市市立宮島小・中学校）が行う宮島の植生回復のための取組に、本学理学研究科附属宮島自然植物実験所が協力します。

昨年度に続く2回目の植樹体験を実施し、宮島ロープウエーターミナル駅周辺の人為的な影響で生じた荒廃地での植生回復のための植樹を行います。

植樹の実施にあたり、宮島自然植物実験所は、平成27年から同学園の苗木作りを指導してきました。苗木は宮島島内で採取した種子から育成することで、生物多様性の保全に最大限配慮しています。

記

【日時】平成30年3月16日（金）9：00～16：00（予定）

【会場】宮島ロープウェイ獅子岩駅周辺

（広島県廿日市市宮島町）

【集合場所】宮島ロープウェイ紅葉谷駅

【対象】ユネスコスクール宮島学園の児童・生徒

【植樹指導】坪田博美准教授

（広島大学大学院理学研究科附属宮島自然植物実験所）

【主催】ユネスコスクール宮島学園（廿日市市立宮島小・中学校）

【協力】広島大学理学研究科附属宮島自然植物実験所、森林管理署、
広島観光開発（株）、（一社）宮島ネイチャー構想推進協議会、
広島県勤労者山岳連盟女性委員会、宮島弥山を守る会

宮島自然植物実験所では、世界遺産宮島の優れた自然とその立地条件を活用して、植物学や生態学に関する教育・研究に50年以上取り組んでいます。とりわけ隔離環境下における植物の分布・系統・生態・種分化などの諸問題の解明、これまでの研究活動で収集した植物標本のデータにもとづく研究、島の環境における稀少生物の保護や自然環境の保全などを研究対象としています。

また、一般の方向けの植物観察会を開催するとともに、広島大学デジタル自然史博物館を通じた生物に関する情報の公開、研究資料の提供、共同研究、幼小中高大連携などを通して、社会・地域貢献も行っています。

<広島大学デジタル自然史博物館>

<https://www.digital-museum.hiroshima-u.ac.jp/~museum/>

【お問い合わせ先】

大学院理学研究科

附属宮島自然植物実験所 坪田 博美

TEL:0829-44-2025 FAX:0829-40-2001